

日本を拠点に海外の学びを経験できる グローバル教育に 強い大学



CONTENTS

国際基督教大学 (ICU)	066
立命館大学グローバル教養学部	068
明治学院大学法学部グローバル法学科	070
甲南大学グローバル教養学環	072
こども教育宝仙大学	074
国際大学	076
アリゾナ州立大学	
サンダーバードグローバル経営学部	078

日本にしながら世界基準で学べる

海外の大学留学を考えると、大きなハードルになるのが学費の問題。そのコストを抑える選択肢のひとつが、日本の大学を拠点にグローバルな学びを経験する道だ。コロナ禍が落ち着き、日本の大学のグローバル教育にも活気が戻ってきている。グローバル教育とひと口に言ってもその内容はさまざま。王道の交換留学のほか、日本と海外の大学の学位を取得できる「ダブルディグリープログラム」、複数の言語圏への留学を経験できるプログラムなどユニークなものも多数探せる。なかには、日本国内にしながらオール英語で学べる本格的なMBAコースを有する大学院などもある。ぜひ留学を検討する際の参考にしてほしい。

こども教育宝仙大学の本留学制度は、その教育内容が評価され、2022・2023年度と2年連続で日本学生支援機構による「海外留学支援制度」(留学生に対し給付型奨学金が支給される制度)に採択されました。

よくある質問にお答えします! こども教育宝仙大学

オーストラリア 保育留学制度

Q&A



Q1
留学希望者は、
入学時から申請する
必要がありますか?

A 2年次の12月までに
参加申請すればOK

オーストラリア保育留学制度は、入学時から予め留学コースに分かれて準備をするわけではありません。2年次の秋学期に希望者を募り、3年次から留学予定者向けの専用カリキュラムに移行し、留学に備えます。

Q2 留学期間と
留学先について詳しく
教えてください。

A 4年次の11ヵ月間
ゴールドコーストへ

3年次の2月から4年次の12月までの43週間、オーストラリアに留学します。留学先は、こども教育宝仙大学と2015年から姉妹校協定を交わしているゴールドコーストのImagine Education Australiaです。同校は、英語学校、保育の専門学校、保育園も経営していることから、すべてのプログラムをここで完結できます。まず、英語学校で15週間英語を学び、その後28週間の保育コースを受講します。同コースでは、160時間の保育実習(週1回)も体験できます(2023年5月現在)。

A 資格取得に必要な実習は
3年次までに修了します

通常4年次に行く幼稚園での教育実習を3年次に行い、すべての国内実習を3年次で修了したうえで、オーストラリアへ出発します。そして帰国後に卒業と同時に、国内の幼稚園教諭I種免許、保育士資格を取得します。このため、留学予定者は、3年次から専用の履修コースに移行します。

Q3
こども教育宝仙大学の
国内の履修は
どうなりますか?



A 最初はホームステイで
その後はセレクト可能

最初の5週間から8週間程度は、Imagine Educationが斡旋する現地家庭にホームステイをします。その後はホームステイの継続、コンドミニアムやシェアハウスでの滞在を選ぶことができます。英語コースでは週5日間授業に出席します。保育コースでは週2日間、授業と実習に出席し、そのほかは自宅等で課題に取り組みます。現地では、Imagine Educationの日本人スタッフが留学生の相談に応じ、さまざまなサポートを行います。

Q4
留学先での
学費について詳しく
教えてください。

A 4年次の学費を留学費用に充当

オーストラリアでの語学学校と保育コースの授業料は、本学に納めていただく4年次の学費を充当します。このため留学参加者は、他の学生と4年間トータルの学費は同じでありながら、国内外3つの資格取得と英語力の修得ができます(募集定員10名)。ただし、留学の渡航費、現地生活費、レジャー費等は別途必要になります。

Q5
留学先での滞在先や
生活について
教えてください。



こども教育宝仙大学 HOSSEN COLLEGE OF CHILDHOOD EDUCATION

1935年に設立された仏教保育協会保母養成所を起源とし、その歴史を継承する4年制の保育系単科大学。これまで6,000名を超える卒業生を幼児教育・保育の現場に輩出してきた伝統と歴史を教育に活かしています。東京都中野区にある大学キャンパスは宝仙学園幼稚園に隣接。常に子どもたちを身近に感じながら、幼児教育についての学びを深めることができます。実践的なカリキュラムと充実した実習サポートが特長で、堅実な就職実績でも評価されています。

DATA 住所:東京都中野区中央2-33-26 TEL:03-3365-0267
アクセス:東京メトロ丸ノ内線/都営地下鉄大江戸線「中野坂上」駅より徒歩8分
<http://hosen.ac.jp>



こども教育宝仙大学 オーストラリア保育留学

こども教育宝仙大学ではじまった「オーストラリア保育留学制度」。
日本の保育士資格と幼稚園教諭一種免許状に加え、
オーストラリアの保育士資格Certificate IIIも取得できる。

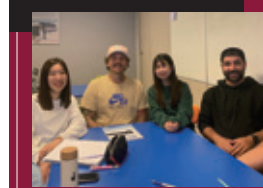
www.hosen.ac.jp

こども教育宝仙大学
住所：東京都中野区中央2-33-26
TEL：03-3365-0267



英語コースはレベルごとに細かくクラス分けされている。そのため、自分の英語力に適したクラスでしっかり学べる

長期 保育留学体験者



こども教育宝仙大学 4年生
菊池 穂梨奈さん

留学したから気づけたこと

英語を話す時、言葉が詰まったり、緊張したりすることがありますが、ブラジル人の友達が「恥ずかしくないで」「英語を話すことを怖がらないで」と言ってくれます。大切なのは恥ずかしくないで挑戦し続けること。友人の言葉は私のモチベーションになっています。さまざまな国の友人たちとお互いの伝統や文化について話すのですが、このような会話が「英語を勉強するだけが留学ではない」と改めて気づきます。多様な国や文化に触れることで国際的な価値観もさらに強まると感じました。

短期 保育留学体験者



こども教育宝仙大学 4年生
源川 珠里さん

何よりも大切なのは理解しようとする姿勢

オーストラリアは移民が多く、フランスやブラジル、アジア圏の子ともおり、日本人の私に対しても違和感を持たずに接してくれました。英語が話せないでコミュニケーションを取ることが難しいと思っていましたが、根本にある子どもの姿は日本と変わらないことに気づき、遊び、音や表情、仕草（動き）によるコミュニケーションを通して子ども・保護者・職員と関わることができました。文化の違いや言語の壁ではなく、自身が理解しようとする姿勢が何よりも大切だと学びました。

オーストラリア保育留学の学びの流れ

	1st year		2nd year		3rd year		4th year	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
	保育の現場を知る		保育の現場を知る		保育実習、教育実習		オーストラリアでの保育実習	
日本	基礎ゼミ開始 幼児教育・保育・児童福祉に関する基礎・基本を学ぶ。幼稚園、児童養護施設等での観察学習も行う		2年ゼミ所属 隣接する宝仙学園幼稚園での体験学習や保育所見学を経て、2週間の「保育実習I（保育所）」に行く		留学ゼミ所属 「教育実習（幼）」、「保育実習I（施設）」、「保育実習IIかIII（保育所or施設）」に行き、免許取得のための実習を終える		留学ゼミ所属 オンラインによる卒業論文指導	
オーストラリア							2月渡豪 語学研修 (15週間)	12月帰国 保育専門コース (28週間)

3つのポイント

オーストラリアの保育士資格 Certificate III を取得

11か月の留学期間に規定のコースを修了すると保育専門学校卒業レベルにあたるCertificate IIIの資格を取得可能。これは、オーストラリアで保育補助の仕事に就ける資格だ。

国内の資格取得& 就職活動もしっかりサポート

4年次の長期留学に向け、通常4年次の必修科目や保育実習と教育実習を3年次までに修了できるカリキュラムを設計。留学中からオンラインで就職サポートも実施する予定だ。

4年間の学費内で オーストラリアでの留学が可能

語学学校+保育コースの授業料は、大学4年次の学費を充当する。このため渡航費、現地生活費は別途かかるが、他の学生と同じ学費で3つの資格取得と英語力習得が可能になる(2023年5月現在)。

れている。

まず、1年次から3年次に国内で保育に関する授業やオーストラリアや多文化共生の知識も身につけていく。3年次より留学予定者専門ゼミナールに所属し、留学に向けてしっかりと準備をする。英語学習はもちろんのこと、世界中で知られている絵本のペーパーサートを作成したり、読み聞かせの練習をしたり、現地の保育園実習ですぐに活かせるものを用意していく。

オーストラリアへ留学するのは、3年次の2月から4年次の12月にかけて11か月ほど。まず15週間の語学研修を受け、英語力を伸ばす。その後、現地の保育園で週に2回実習を交えた保育専門コースを28週間受講する。4年次を留学に充てるため、国内での資格取得や就職活動を心配する人もいるだろう。しかし、参加者は3年次までに全ての実習を修了するため、資格取得に影響が出ることはない。また、就職活動にも支障が出ないように教職員がいていねいにサポートしてくれる。

また、長期の留学は考えていないが、海外保育を体験してみたいという学生のためにオーストラリアで短期留学プログラムも行われている。

国内外で経験を積むことで、 選択肢の幅を広げてほしい

参加者全員が保育実習と教育実習を修了してからオーストラリアへ旅立つため、子どもたちの接し方の基本的スキルが身につけている。子どもの発達の違いや援助方法の知識など、実習から得た経験が、オーストラリアでも役に立つことは間違いない。日本とオーストラリア両方の保育実習を経験することで、視野を広げてもらいたいという目的もある。多文化主義で個を尊重するのがオーストラリアの教育文化。子どもも活動を選ぶ権利があるなど、小さいうちから個を尊重する環境が当たり前となっているのだ。このような多様なあふれる保育現場で経験を積み、さまざまな価値観に触れることは、今後の保育観に大きな影響を

与えるだろう。

2023年2月、保育留学第一期生がオーストラリアへ旅立った。

「英語研修は、午前中は一般的な英語プログラム、午後は本校だけの特別プログラムを受講します。各自のレベルによってクラス分けされるため、会話や文法など個人の得意不得意を伸ばしたり補ったりしてくれます。それと同時に私のゼミもオンラインで行われ、月に1回個別面談、月に1回ゼミ生全員で集まり意見交換などで学びを深めます。そのほか月2回英語と日本語でレポートの提出をしてもらうなど、日本からもしっかりサポートしていきます。」
そう語るのには、留学予定者専門ゼミを担当する専任講師の松崎真実先生。海外での保育経験は、インターナショナルブリスケットや外国籍の子どもの多い地域の保育園・幼稚園など、幅広い職場で役立つ。それだけでなく、オーストラリアなど海外で保育者として働くという選択肢も持つようになるだろう。



日本とオーストラリアでの免許・資格の取得と 保育経験を活かし働き方の選択肢を広げる



オーストラリアへ保育留学。国内 外で3つの免許・資格を取得

およそ90年にわたり保育者養成に携わってきたこども教育宝仙大学は、2014年からオーストラリア短期保育留学を実施してきた。その現地ネットワークと教育ノウハウを駆使して実現したのが、オーストラリア・ゴールドコーストへの長期留学プログラム「オーストラリア保育留学制度」だ。
プログラムに参加する学生は、4年間の在学中にオーストラリアでも学び、国内の幼稚園教諭一種免許状と保育士資格に加え、オーストラリアの保育士資格Certificate IIIと、国内外で3つの免許・資格の取得を目指す。Certificate IIIは、オーストラリアのチャイルドケアセンター(保育園)などで働く際に必須となる資格。この資格を取得すると、チャイルドケアセンターでアシスタント保育士としてクラスを受け持つことができる。また、オーストラリア保育留学の授業料は大学4年次の学費が充当され、さらに留学をしても4年間で卒業できるよう単位修得の仕組みが整えら



大学キャンパスは幼稚園に隣接。1年次からの体験学習も行われる